

航空工学の権威



もりやとみじろう
守屋富次郎

1898-1974

上真桑西境に生まれた。県立岐阜中学、第八高等学校を経て、当時東京帝国大学に新設された航空学科の第1回生として入学した。昭和13年には第5回万国応用力学会議に日本代表として出席し、欧州各国の航空事情を調査・研究し、航空会の技術発展の為に貢献した。戦後の航空事業再開に伴い、航空技術調査団長として欧米を視察し、航空界再建に尽力した。